

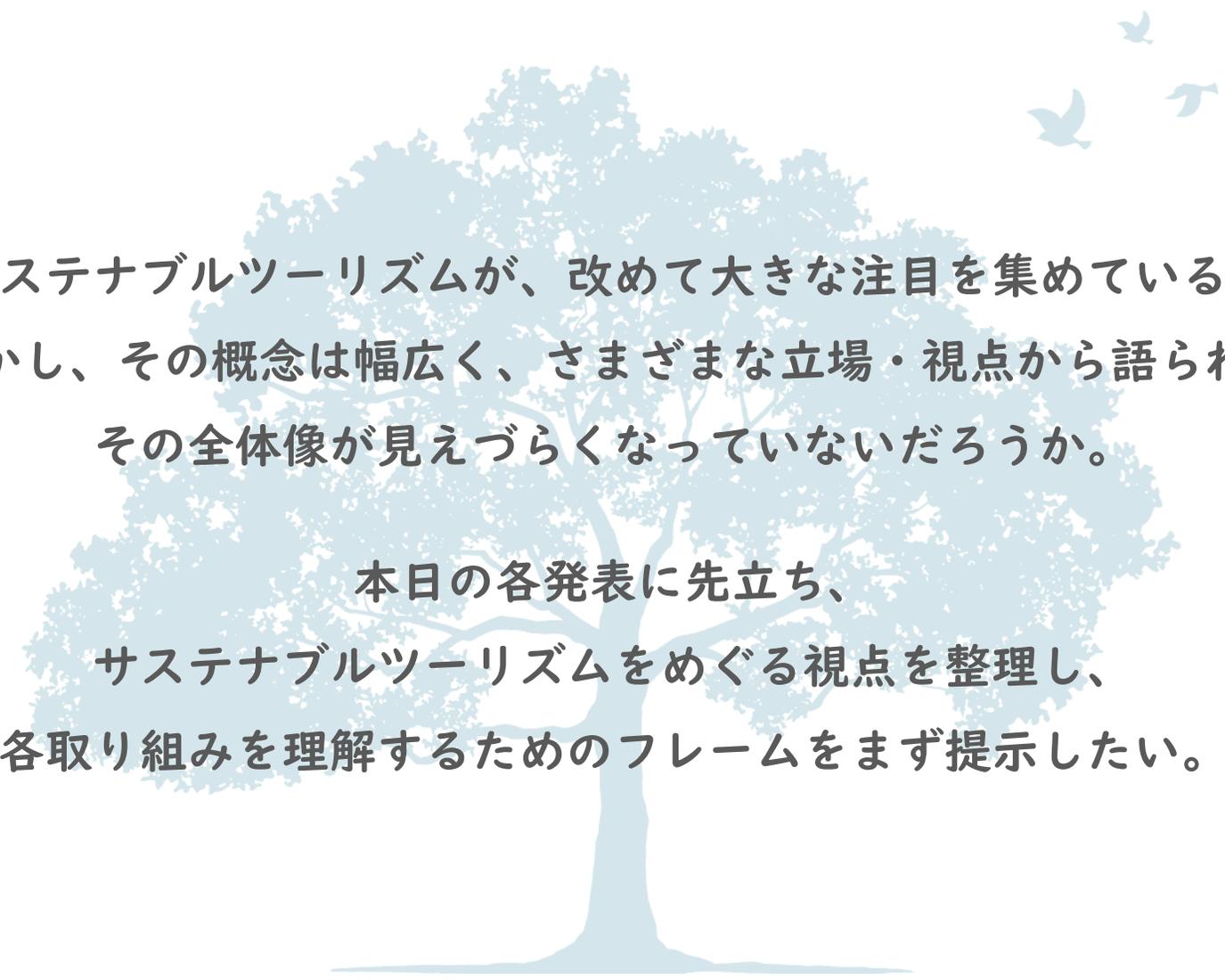
第32回
旅行動向シンポジウム

コロナ禍からの再起動に向けて

2日目<観光地編～地域社会と調和する観光～>

サステナブルツーリズムの視点

環境計画室長 兼 沖縄事務所長 / 上席主任研究員
中島 泰



サステナブルツーリズムが、改めて大きな注目を集めている。
しかし、その概念は幅広く、さまざまな立場・視点から語られ、
その全体像が見えづらくなっていないだろうか。

本日の各発表に先立ち、
サステナブルツーリズムをめぐる視点を整理し、
各取り組みを理解するためのフレームをまず提示したい。

1-1. サステナブルツーリズムの定義・系譜

- 1987 持続可能な開発の定義（環境と開発に関する世界委員会：ブルントラント委員会）
- 1992 行動計画「アジェンダ21」の採択（国際環境開発会議：地球サミット）
- 2004 「観光地のための持続可能な**開発指標**ガイドブック」（UNWTO）
- 2005 「観光をより持続可能にしていくためのガイドブック」（UNWTO/UNEP）

<サステナブルツーリズム（持続可能な観光）の定義>

訪問客、業界、環境および訪問客を受け入れる**コミュニティ**のニーズに対応しつつ、**現在**および**将来**の**経済**、**社会**、**環境**への影響を十分に考慮する観光

環境

長期的経済活動の補償

社会

環境資源の利用の最適化

経済

地域の社会・文化への配慮



利害関係者（ステークホルダー）の参画

強い政治的リーダーシップ

観光の影響を**モニタリング**する継続的な取り組み

- 2017 開発のための持続可能な観光の国際年（UN）

1-1. サステナブルツーリズムの定義・系譜

モニタリング / 定量的な評価 / 見える化が必要

2004 「観光地のための持続可能な開発指標ガイドブック」 (UNWTO)

2013 「観光地向け持続可能な観光基準」 (GSTC)

<GSTCによる持続可能性の評価指標項目>

観光地管理		経済		社会	環境	
観光戦略	エバーサルデザイン	経済調査	観光意識向上と教育	観光資源の保護	環境リスク	水資源の確保
管理組織 (DMO)	資産の取得	地域の就業機会	接種の防止	旅行者の管理	脆弱な資源の保護	水質
モニタリング	観光客の満足度	住民参加	コミュニティ支援	旅行者のふるまい	野生生物の保護	排水
季節変動への対応	持続可能性の基準	地域コミュニティの声	フェアトレード	観光資源の解説	温室効果ガスの排出	廃棄物の削減
気候変動への対応	安全と治安	地域住民のアクセス			省エネルギー	光害と騒音
観光資源のリスト化	危機管理・体制				水資源の管理	低環境負荷の交通
計画に関する規制	プロモーション					

2020 日本版持続可能な観光ガイドライン (UNWTO駐日事務所/観光庁)

1-3. サステナブルツーリズムの参加動機（マインドセット）

何を持続させるのか

環境

社会

経済



取り組みの時間軸

ビジョン追求型

中長期的な将来ビジョンに基づいて、
バックカスティングの視点で取り組むのか

問題解決型

現在起きている問題または直近で想定される
課題を早急に解決するために取り組むのか

(観光文化 vol.254, ルーツモデル p32-33から一部改, Ishiguro&Nakajima, 2022)

1-3. サステナブルツーリズムの参加動機（マインドセット）

	ビジョン追求型		問題解決型	
環境	エコロジーマインド <ul style="list-style-type: none">次世代への資源の継承生物多様性の保全より美しい地球へ 		資源保全マインド <ul style="list-style-type: none">特定自然資源の回復危機遺産からの脱却温室効果ガスの削減 	
社会	まちづくりマインド <ul style="list-style-type: none">訪問者と住民の交流QOL向上・誇りの醸成安全保障・平和の希求 		ソサエタルマインド <ul style="list-style-type: none">都市・集落の混雑対策観光客のマナー対策災害復興（コミュニティ支援） 	
経済	グリーンマーケマインド <ul style="list-style-type: none">競合地域との差別化エシカル市場の獲得エコイメージの獲得 		プロプアマインド <ul style="list-style-type: none">交流人口・地方創生災害復興（産業支援）貧困の解決 	

（観光文化 vol.254, ルーツモデル p32-33 から一部改, Ishiguro&Nakajima, 2022）

1-4. マインドセットの例



何を持続させるのか

環境

社会

経済



取り組みの時間軸

ビジョン追求型

中長期的な将来ビジョンに基づいて、
バックカスティングの視点で取り組むのか

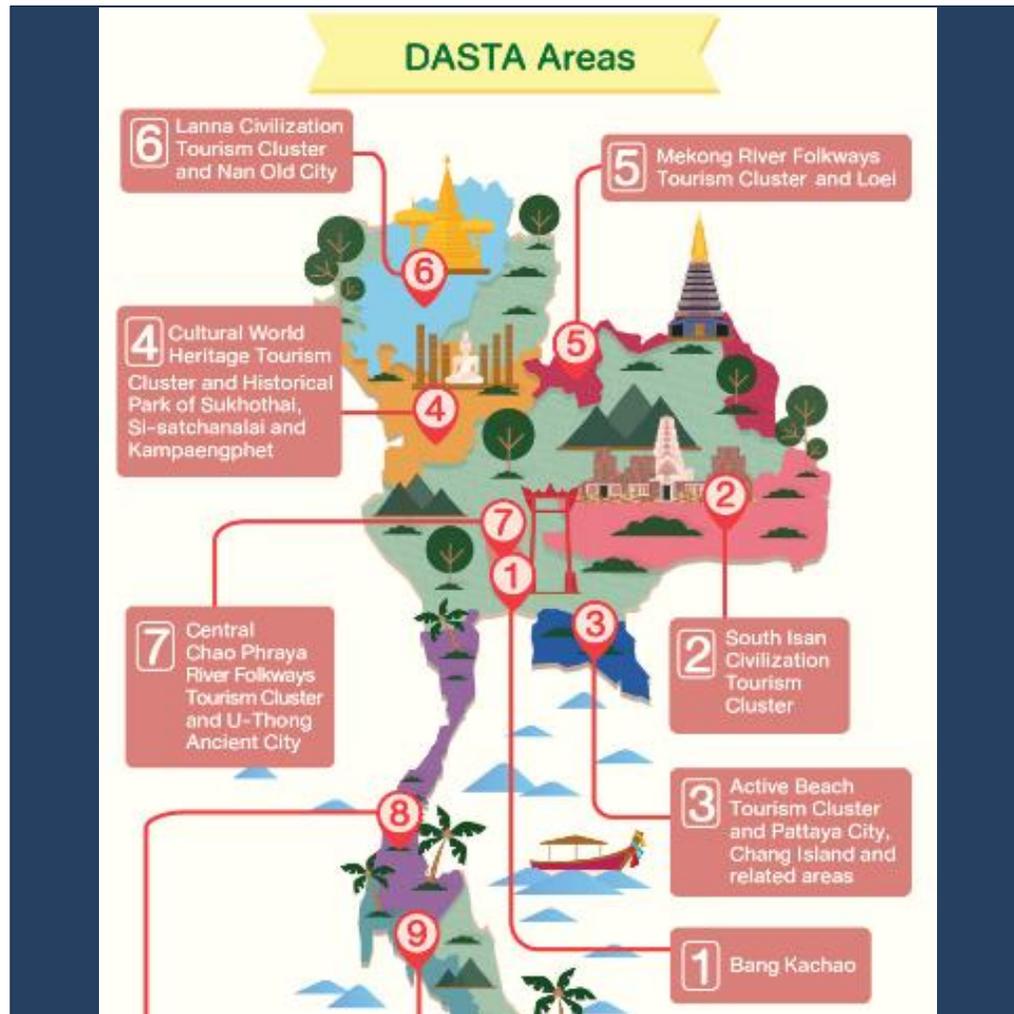
問題解決型

現在起きている問題または直近で想定される
課題を早急に解決するために取り組むのか

■ マヤビーチ (Thailand) の一時的な閉鎖

- 映画の舞台にもなった離島ビーチに1日2000~4000人の観光客が訪れるようになり、サンゴ礁を始めとした海洋生物の生息環境が急速に悪化。
- タイ政府は環境保護の観点から、2018年から約3年半に渡って観光客の立入りを禁止した。
- 短期収入よりも、一定の資源回復を優先したケース。

1-4. マインドセットの例



何を持続させるのか

環境

社会

経済



取り組みの時間軸

ビジョン追求型

中長期的な将来ビジョンに基づいて、バックカスティングの視点で取り組むのか

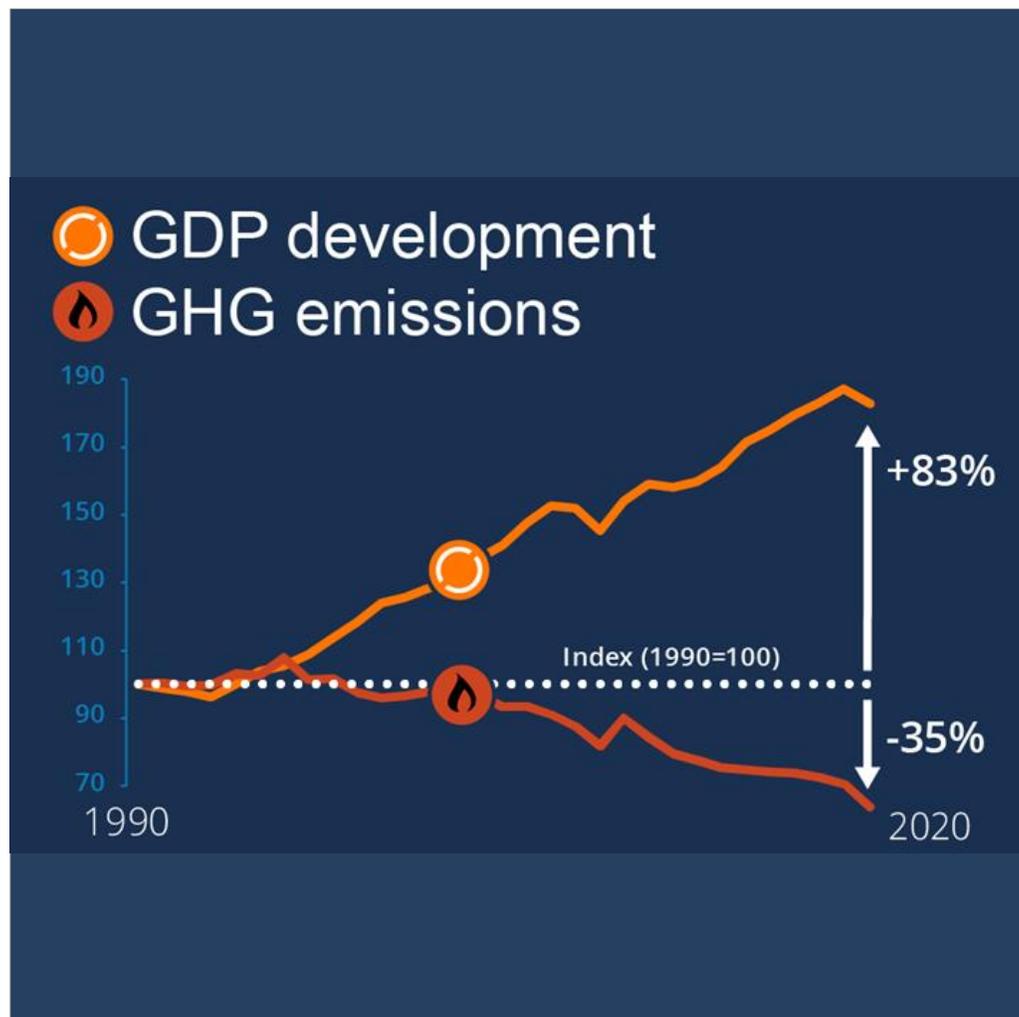
問題解決型

現在起きている問題または直近で想定される課題を早急に解決するために取り組むのか

■ DASTA (Thailand) によるCBTの推進

- サステナブルツーリズム推進のための指定地域
The Designated Areas for Sustainable Tourism Administration
- 地域アイデンティティを守り、観光収入の正当かつ平等な分配のために、コミュニティ・ベースド・ツーリズム (CBT) を取り入れており、CBTクラブを通じて地域住民が自ら観光に参加し、管理し、利益を得ることを強化している。

1-4. マインドセットの例



何を持続させるのか

環境

社会

経済



取り組みの時間軸

ビジョン追求型

中長期的な将来ビジョンに基づいて、
バックカスティングの視点で取り組むのか

問題解決型

現在起きている問題または直近で想定される
課題を早急に解決するために取り組むのか

■ 炭素税（Sweden）導入と経済成長の両立

- 世界で最も高い炭素税率を課しているが、30年前に導入されて以来、同国は、炭素排出量の減少と安定した経済成長の両立に成功している。
- また、あわせてアドベンチャーや地域観光など持続可能な観光戦略に力を入れているほか、国民の環境意識の高さも特徴となっている。

1-5. まとめ

何を持続させるのか

環境

社会

経済



取り組みの時間軸

ビジョン追求型

中長期的な将来ビジョンに基づいて、
バックカスティングの視点で取り組むのか

問題解決型

現在起きている問題または直近で想定される
課題を早急に解決するために取り組むのか

- サステナブルツーリズムの概念は幅広い。
- 取り組むべき内容の濃淡・バランスは、地域の状況・課題によって異なる。
- 地域によって同じ取り組みにはならない。

第32回旅行動向シンポジウム 資料（主催：公益財団法人日本交通公社）

本資料の引用や転載をご希望の場合は、下記までお問い合わせください。

公益財団法人日本交通公社 観光文化振興部 企画室
zaidan_info@jtb.or.jp